

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	法人全体での理念を大きく玄関に掲示しています。それに基づいて事業所独自の理念も掲げています。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	玄関に分かりやすく表示しており、勤務した際に確認するようにしています。また、ミーティングの際には、検討事項が理念に沿ったものになるよう取り組んでいます。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	ご家族の面会時や施設見学時、地域住民との話の中で、理念に沿った説明を行い理解して頂けるよう取り組んでいます。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	日常的に散歩や掃除(玄関先)をする際に挨拶をするように努めています。また現在町内組長をしているため、町内会費を回収する際や回覧版を廻す際にも近所の人々との関係を深めています。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域のお祭り等には入居者とともに積極的に参加しています。また地区の中学生の福祉体験や保育園の子供たちが手作りのものをもってこられたり、逆にこちらから保育園の行事に参加したりと、地域との交流を図っています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	月	月に一度、地区の他事業所が集まる会合(ふれあい会)に参加し、地域高齢者の暮らしに役立つ取り組みについて話し合っています。また民生委員の方と一緒に独居高齢者の方の自宅へ訪問することもあります。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	サー	サービス評価の意義や目的を全スタッフに伝え、全員で自己評価に取り組むようにしています。また外部評価の結果は、ミーティングで報告し、改善に向けて実践につなげるための努力をしています。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	運	営推進会議では、サービスの実際や評価についての説明を行い、参加メンバーから意見が出やすい様に配慮しています。また毎回民生委員や町内会長等にお知らせし、ご家族にはふれあい通信にてお伝えしています。また日頃よりご家族とのコミュニケーションを密に図り、意見をサービス向上に活かせるよう努めています。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市	主催である認知症実践者研修の施設実習を受け入れており、研修生は、約3年の経験がある方なので、意見交換の機会となり、サービスの質の向上に活かしています。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	管	理者は集団実施指導や外部研修に参加し、理解を深めた上で、職員に報告しています。今後、職員にも研修への参加を促していくよう努めます。また、ご家族には契約の際に説明を行っています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	月	1度の管理者会議において、高齢者虐待防止法についての勉強会を行い、全スタッフが共通認識をもてるように、資料をいつでも閲覧できる状態にしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>〇契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約書及び重要事項説明書については、十分な説明を行い、希望される方には、事前にお渡しし、不安・疑問点があれば十分な説明を行い、理解して頂いています。</p>	
13	<p>〇運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>スタッフ全員が言葉や態度から利用者の思いを汲みとることができるように努力しています。また運営推進会議においても、利用者の方にも出席して頂き、意見や要望を聞かせて頂いており、今後のサービスの質の向上に活かしていくよう努めています。</p>	
14	<p>〇家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に一度ふれあい通信にて、新しく画像も取り入れ、生活の様子(表情等)や健康状態、行事予定、その他の連絡事項も含め報告しています。金銭管理については、毎月の請求時に出費明細書に領収書(原本)を添付し、郵送しています。また事故(転倒等)や特変があった際は、すぐに報告し、安心して頂けるように努めています。</p>	
15	<p>〇運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に意見箱を設置し、常時利用できるようにしています。出された意見、要望等はミーティングで話し合い、運営に反映させています。面会時にも随時お聴きするようにしています。</p>	
16	<p>〇運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に一度本部での管理者会議と施設でのミーティング、半年に一度の本部責任者によるスタッフ面談を行い、意見を聞くようにしています。また日頃から細めにコミュニケーションを図るように心がけ、必要な場合は個別面談をしています。</p>	
17	<p>〇柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者の状態やペースに合わせた勤務を組み、必要に応じ出勤人数を増やしたりと柔軟にスタッフの配置を考えています。その際には、管理者のみではなく、必ずスタッフの意見も聴くようにしています。またスタッフの急病や急な休みの際にスタッフが不足する場合は、本部より応援として入ることもあります。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>スタッフの固定化、顔馴染みのスタッフによるケアを心がけています。同事業者の他事業所へ異動する際は、入居者にもきちんと説明し、異動後にも時折立ち寄りすることで、さみしさの軽減に努めています。また、異動してきたスタッフについても同様に、入居者へ紹介し、出来るだけ早く信頼関係を築くことができるように支援しています。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>募集・採用の際は、本部と管理者にて相談の上行っており、年齢や性別、経験や性格等については、偏りがないようにスタッフのバランスを考慮し人員配置を行っています。またスタッフにおいても得意分野を見つけ、それを生かしながら充実したものになるように努めています。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>法人代表・管理者・スタッフと共に、「その人らしさ」を念頭に置き、入居者に対してと同様にスタッフに対しても取り組んでいます。</p>		
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月に一度、内部研修を行っていますが、全員参加が難しいため、偏りがないように順番に参加しています。また外部の研修にもできるだけ多くのスタッフが受講できるように勤務作成の際は配慮しています。また、参加者には、研修報告を、毎月のミーティングで発表してもらい、全スタッフが把握できるようにしています。またスタッフ全員が半年毎の目標をたて、目標達成に取り組んでいます。</p>		
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月に一度、地域の同業者が集まる会合に参加し、交流をもつことによりサービスの質の向上を図っています。また複数のホームを運営する事業者であるため、本部にて月に一度研修を開きスタッフ間の意見交換をしています。</p>		
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>複数の施設を二つのエリアに分け、それぞれにエリア長を配置し、随時相談を受けられる体制を整えています。また、半年に1度、スタッフ面談を行い、スタッフの思いや取り組みを把握するよう努め、それぞれに合った支援をしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように半年毎に各自人事考課や目標を設定し職能評価を図っています。</p>		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えている関係を築いている	月に一度ふれあい通信にて入居者の状況を伝えていますが、その他にも面会時や特変があった際にも、ご家族に入居者の状況やスタッフの思いを細かく伝えることで、家族との関係も深まり協力関係が築けています。また行事等の参加のお知らせをし、本人と共に楽しめる機会を設けています。		
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時には、ご本人とご家族の潤滑油になるように心がけ、細めに状況を報告・相談することで、ご家族からの外出や外泊のお誘いも増えてきています。また残暑見舞いや年賀状等、ご家族宛にご自身で書いて頂いたり良い関係が築いていけるように支援しています。		
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一人一人の生活習慣を尊重し、昔からの馴染みのある喫茶店に行ったり等、個別で行く機会をつくっています。またご家族だけではなく知人や友人等の面会も多く、関係が途切れないように知人等に関する事を本人と話すようにしています。		
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	世話役の方がおられるため、入居者同士の関わりが多くみられます。また生活習慣から居室で長く過ごされる方もおられるため、他の方と一緒に訪室し話をしたりと孤立しないように努めています。食事のお誘い等もスタッフからではなく、入居者の方より声をかけて頂いています。		
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、ご家族より相談等があった場合は、話をきき良い関係を継続できるように努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントをとることで、本人の思いを尊重した支援を行っています。また意思疎通の困難な方には一部の意見や考え方で決め付けるのではなく、本人の視点に立って意見を出し合い、話し合いの場をつくっています。またご家族等からも情報を得るようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>普段、本人とのコミュニケーションの中で、また面会時等ご家族からの聞き取りを行い、その都度細かく記録に記載し、アセスメント作成につなげています。それによりこれまでの生活歴や嗜好、既往歴などを全員が把握できるようにしています。</p>	
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>アセスメントシートの作成を全員で取り組み、ミーティング等にてカンファレンスを行い、できないことよりできることに注目し総合的に把握するように努めています。</p>	
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>普段ご家族や本人との関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしています。ミーティング等にてスタッフ全員で、アセスメント・モニタリング等意見交換を行いカンファレンスを行っています。</p>	
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間が終了する前に、本人やご家族の要望等情報を含め確認し、見直しを行っています。また入院等により状態の変化がみられた場合は、期間にとらわれず変化に応じて本人、ご家族、また主治医と話し合い、新たな計画書を作成しています。</p>	
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各々の生活の様子、普段と違う変化等みられた場合、目標に対する実践や結果等、言葉をふまえて具体的に個別記録に記入し、介護計画の見直しに活かしています。また全スタッフが確認できるように、記録・連絡帳等勤務開始前の確認を義務付けています。</p>	
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々等の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人やご家族の状況に応じて、通院等の必要な支援、またふれあい会グループの中で、デイサービスや小規模多機能型居宅介護を行っているため、要望等相談がある場合は柔軟に対応しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
42	<p>〇地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>消防署職員の指導の下、民生委員を含め年に2回避難訓練を実施し、意見交換する機会を設けています。またボランティアへの協力を呼びかけており、以前よりボランティアも増えています。また地区の中学校の福祉体験も受け入れています。</p>	
43	<p>〇他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>本人の状況や希望に応じて、訪問理美容サービスや訪問マッサージを受けています。またパンがお好きな方が多いため、訪問での販売サービスも利用しています。</p>	
44	<p>〇地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>権利擁護については、契約時ご家族に説明をしており、今後、必要な場合には地域包括支援センターに協力を求めるようにしています。</p>	
45	<p>〇かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>これまでの馴染みのあるかかりつけ医を希望されるかどうか、契約時に本人及びご家族の希望をお聴きしています。了承のもと、事業所の協力医療機関より週に一度の往診を受けられ、緊急時にも対応できるように24時間体制にて医療との連携を図っています。また受診の際は、本人やご家族と相談の上、スタッフが代行する場合があります。</p>	
46	<p>〇認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>主治医より紹介された専門医の診察を受け、相談もさせて頂いています。受診する際には、事前にご家族、本人、スタッフ、主治医と相談の上で行っています。</p>	
47	<p>〇看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>事業所の医療機関に属している看護職員に日々の状況(バイタルや介護日誌)報告により、常時入居者の状況を把握して頂き、特変・急変時には昼夜問わず連携を図り、迅速な対応をさせて頂いています。</p>	



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年、年賀状や暑中見舞いのはがきを一緒に作成しています。またはがきが届いた場合は、本人に渡すだけではなく、本人に内容を読んで頂き内容を一緒に確認したりと、その都度繰り返し確認しています。また本人の希望で電話をされる際は、ご家族との会話がスムーズに行えるように支援しています。		
66 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は、家族の都合に合わせて、柔軟に対応しています。家族の訪問時には、笑顔と挨拶を心がけ、お茶やお菓子を出したり、また面会の場所はその時に応じて臨機応変に対応し、時には他の入居者を含めて話をしたりと、自然な雰囲気づくりに心がけています。		
(4)安心と安全を支える支援			
67 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	グループ全体で、身体拘束委員会を設置し、月に1度、身体拘束廃止委員会会議において、拘束しないケアについての話し合いを行っています。また各施設においてもミーティング等にて、入居者への支援方法等の見直しを行っています。		
68 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関・門とともに施錠はしていません。時折、玄関を開けられ外に出られる方もおられるが、あえて声をかけず見守りをしたり、さりげなく声をかけたり、また一緒に付き添ったりと自然な対応に心がけ、自由な暮らしを支援しています。		
69 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はスタッフがお互いに声を掛け合い、入居者の所在や様子を確認しています。夜間は、入居者の状態に合わせた巡視をし、起きられた時にすぐに対応できるようにしていますが、1階の方の介助時に、2階の様子が分からない場合もあるので、転倒の危険性がある方には、センサーを設置し、安全に配慮しています。センサー設置においては、本人のプライバシーに配慮し、他の入居者に気付かれないように設置・対応をしています。また、常に、センサー設置の見直しも行っています。		
70 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品については、保管場所や管理方法を決めており、必要時は入居者の状況に応じて提供しています。また使用时危険を伴う恐れがある為、本人ができることを活かし、必要な援助を行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>今後は隣近所の方にも参加して頂き、地域の人々の協力がより図れるよう呼びかけを行っていきます。</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全体的に和紙を使用したものを飾ったり、庭先で摘んだ花を小瓶に入れ、リビング・廊下等入居者が目にしやすい場所に設置し季節感を採り入れています。また日めくりやカレンダーをリビングやエレベーター横に設置し日々の確認が出来るようにしています。スタッフの声・テレビの音量が大きくなるように配慮し、陽射しもカーテン等で調整しています。</p>	
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングや玄関、廊下(二階)の所々にソファや椅子を置き、一人で過ごしたり、気の合った入居者同士で過ごせるような空間をつくっています。</p>	
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅との環境変化を最小限にするために、本人やご家族と相談し使い慣れた馴染みのものを置くようにしています。居室ごとに異なる雰囲気を作られており、毎月2回のフラワーアレンジメントで入居者が活けられた花が飾られています。またネームプレートも入居者と一緒に作成し、ご自分の部屋であることを確認して頂いています。</p>	
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の上よみがないように換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>所々に温湿度計を設置しているので、温湿度を把握しながら空調管理をしています。喚起も細めに行うようにしています。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>内部はバリアフリーで、高齢者の身体機能に合わせた工夫がされています。2階への階段は一段一段の高さは低めで、滑り止めも貼られています。要所要所に手すりが設けられ、トイレの向きも左右用意されています。洗面台の鏡の高さも低めにされています。</p>	
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>トイレ・エレベーターには分かりやすいように表札を設置しています(繰り返すことにより覚えて頂いています)。また居室を間違わないように、本人と一緒にネームプレートを作成し、入り口のところの見やすい位置にかけております。</p>	
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>お庭等にプランターを置き、一緒に花を植えたり、畑のスペースを確保し季節のお野菜を作ったりと季節折々のものを見ても楽しめるような工夫をしています。またお庭が広めなので、お庭で食事ができるようなテーブルを設置したり、また莫蔭をひいて座って楽しめることもあります。</p>	

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今年より、隣組組長をすることとなり、地域との関わりが以前より多くなってきました。また独居の方の自宅に訪問したりと民生委員さんとの共同支援も図り、他の事業所との関わりも増え、このような外部との交流を通じて、少しずつお互いが行き来しやすい関係となってきてます。また周りの環境が比較的静かであるため、慌しさもなく、また公園やスーパー・喫茶店も近く、入居者・スタッフ含め生活の場としてゆっくりと過ごすことができています。苑内・苑外においても、花等季節折々のものをかかさないうようにしています。